

～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成 29 年 6 月 17 日 (N0.93)



浦幌町教育委員会  
浦幌町教育研究所

## 「スマホ・ゲーム機使用」の取組

■これまで熟議を重ねてきた「スマホ・ゲーム機使用のルール」宣言に基づいて取組を始めています。6月17日には、金子耕武氏のご講演をいただき、いっそう力強くこの取組を進めていきます。

(Ⅰ)

熟 議

28 年  
5 月～10 月

(浦幌学園) 小学 3 年生以上の児童生徒及び保護者に対してアンケート調査実施。  
⇒4 つの課題①家庭学習の定着 ②チャレンジ精神を高める ③お手伝いの習慣化 ④スマホ・ゲーム機の利用)についてワークショップを実施

(上浦幌学園) 小規模校の特性を生かして、記述式振り返りシート調査実施。  
⇒学園評価の論点整理①授業 ②家庭学習 ③あいさつ ④運動 ⑤食事、睡眠、スマホ・ゲーム機の使用)についてワークショップを実施

○平成 28 年 11 月 5 日 教育の日実践交流会(スマホ・ゲーム機使用のルール宣言)

(Ⅱ)

宣 言

28 年  
11 月 5 日

1. スマホ・ゲーム機の使用時刻は、小学生は午後 8 時まで、中学生は午後 9 時までとします。
2. スマホ・ゲーム機は家族の目が届く居間で使用します。
3. 家族や友達と話をしている時は、スマホ・ゲーム機を使用しません。
4. 地域では、スマホ・ゲーム機の使用時間や場所への働きかけをするとともに、公共施設等での使用マナーに対する声かけを行います。
5. 読書・家庭学習・親子の会話などの時間を作ります。

○平成 29 年 6 月 17 日 教育の日実践交流会(実践報告、講演会 講師 金子耕武氏))

(Ⅲ)

今 後  
の取組

29 年  
6 月～

■特に上記ルール宣言の 5 点目「読書・家庭学習・親子の会話などの時間を作ります。」に重点的に取り組みます。

■生活リズムの改善によって確保できた時間をどのように有効に活用していくか、子供たちと話し合い実践していきます。例えば

(家 庭) 家読、家庭学習、親子の対話、体力づくり、手伝い、自由研究など主体的な取組

(学 校) 主体的、対話的で深い学びのある授業への改善

学習のめあてとまとめの明確化、家庭学習とのつながり

(地 域) 早寝・早起き・朝ごはん運動の推進、地域行事の推進他

○平成 29 年 11 月 4 日 教育の日実践交流会(実践報告)